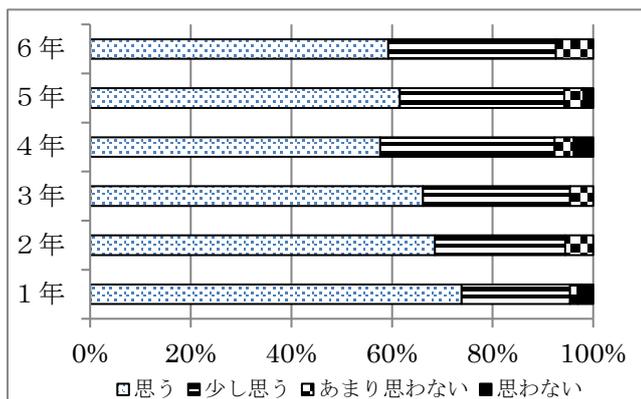
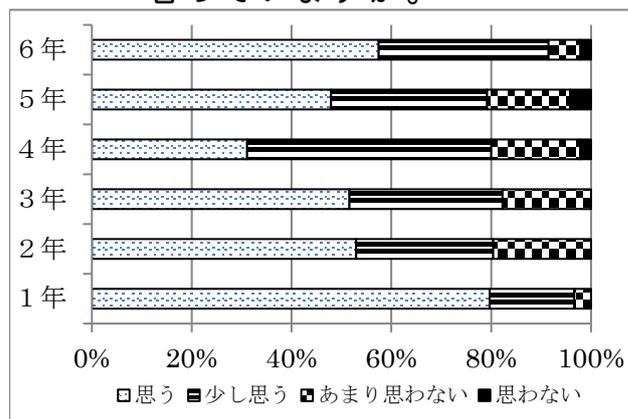


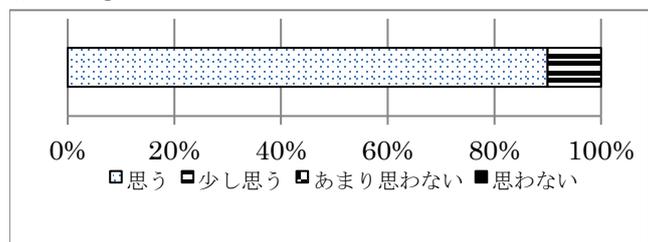
児童① 学校の勉強で「わかった」「できた」「楽しい」「なるほど」と思うことがありますか。



保護者① 学校の授業が「わかる」「楽しい」と言っていますか。

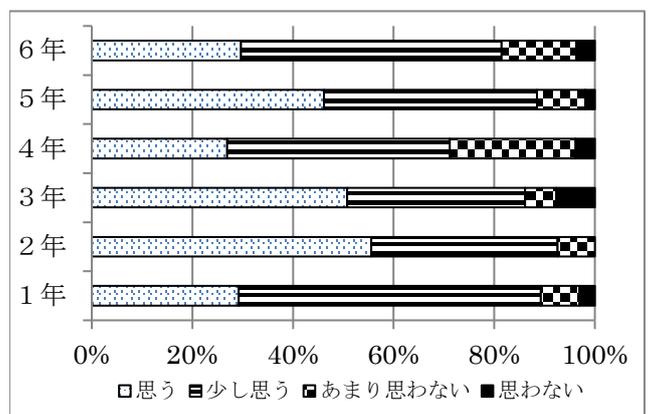


教職員① 授業の工夫に努めたか。

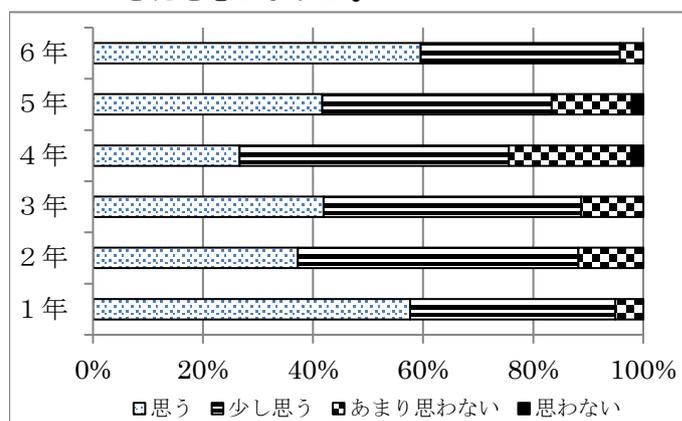


各学年、90%以上の児童に勉強が「わかる」「楽しい」と考えている結果が出ました。昨年に比べると2～6年生は約10%あがっています。反面、4年生は昨年同程度、5年生は、昨年はみられなかった「思わない」が数パーセントの結果となり気になるところです。コロナ禍の影響で授業時数が減った中、担任は指導事項を落とさず学習内容の理解につながるよう工夫して取り組んできていますが、「思わない」と答えている児童や保護者の結果を踏まえ、更なる授業改善・工夫に努めていきたいと思えます。

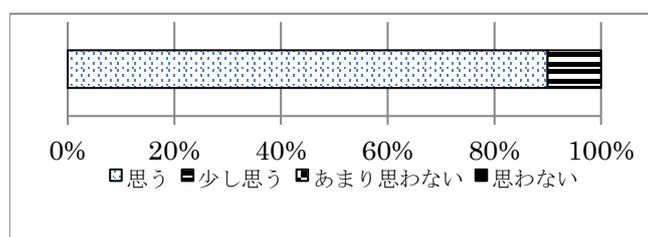
児童② 自分で考えることが多くなりましたか。



保護者② お子さんは自分で「考える力」が身につけてきたと思いますか。

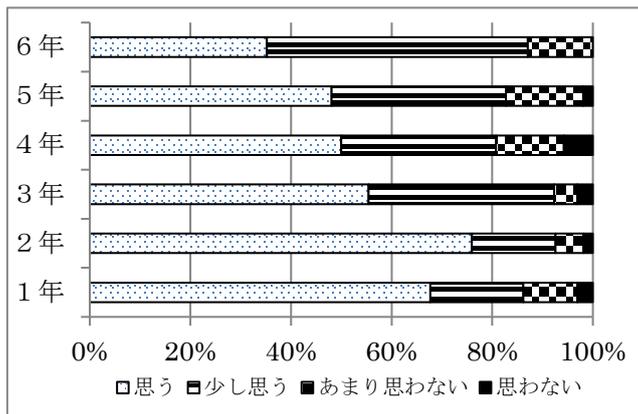


教職員② 「考える力」が身につくような指導の工夫に努めたか。

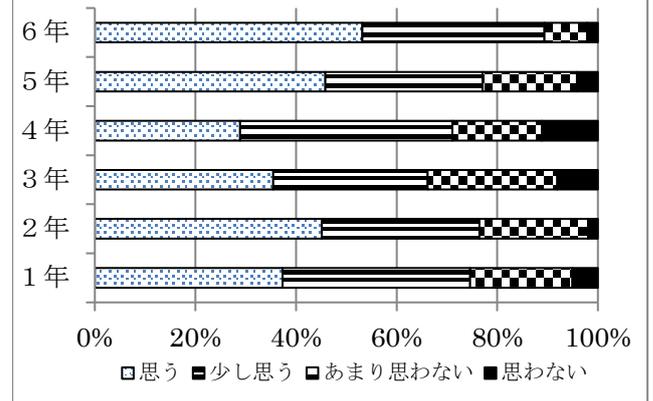


ほとんどの学年で80～90%の割合で「思う・少し思う」の結果となり、昨年と大きく変わりはありません。①と②は関連性がありますが、①に比べ「思う」の割合が少ないことと、「思わない」の割合が増えている点が気になります。授業の中では、自分の考えをもつ、集団で考え練り上げる時間をもつなど「考える力」を大切に、指導の工夫に努めています。「わかった」「できた」だから「楽しい」につながるように「考える力」がより深まる手立てを考えていきたいです。

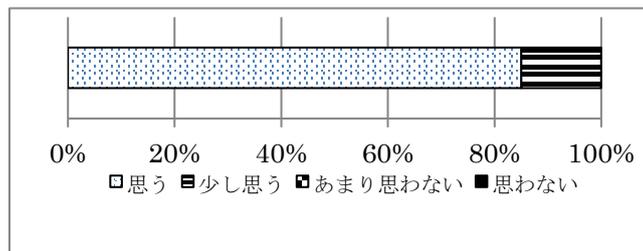
児童③ 家でも自分から進んで勉強をしていますか。



③保護者 家で自分から進んで学習していますか。

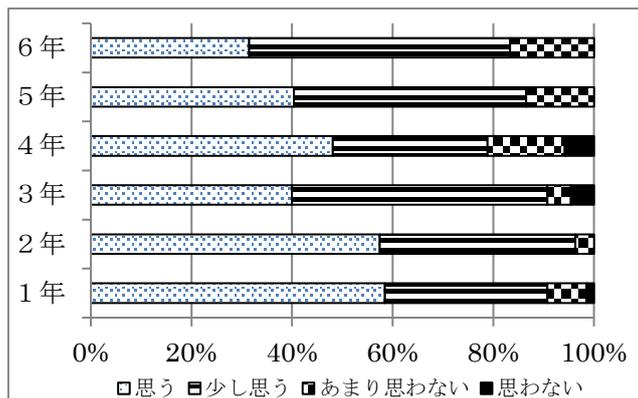


教職員③ 家庭学習が習慣化するように努めたか。

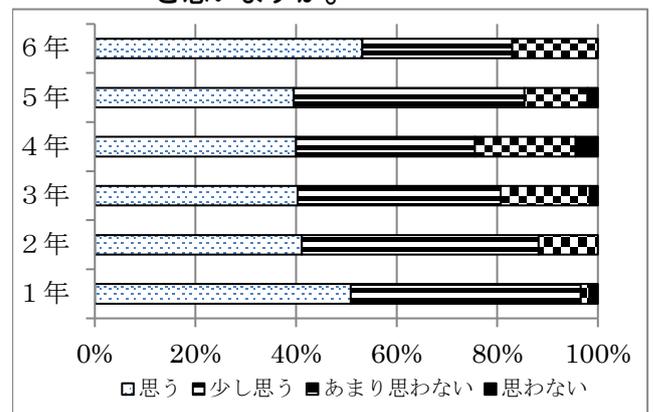


家で進んで勉強をしていると答えた児童は、「少し思う」も含めるとどの学年も80%を超えています。児童が家でも勉強をしていると認識している一方で、保護者は家で勉強していると思っている割合が児童よりも低い傾向があります。保護者から見ると足りないと感じている可能性がうかがえます。今後も児童が進んで家庭学習に取り組めるよう、家庭と連携しながら量や質を含めて課題の出し方を検討していきます。

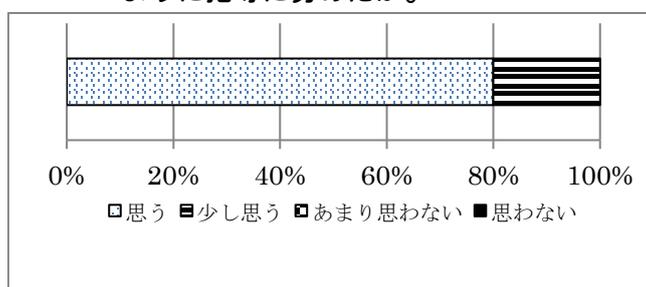
児童④ 自分の考えや思ったことを発表したり、友だちの意見をよく聞いたりして考えていますか。



保護者④ 「話す力」や「聞く力」が身につけてきたと思いますか。

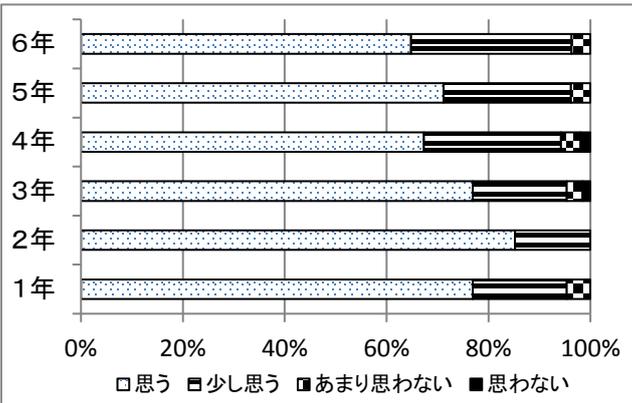


教職員④ 「話す力」「聞く力」「表現する力」などが育つように指導に努めたか。

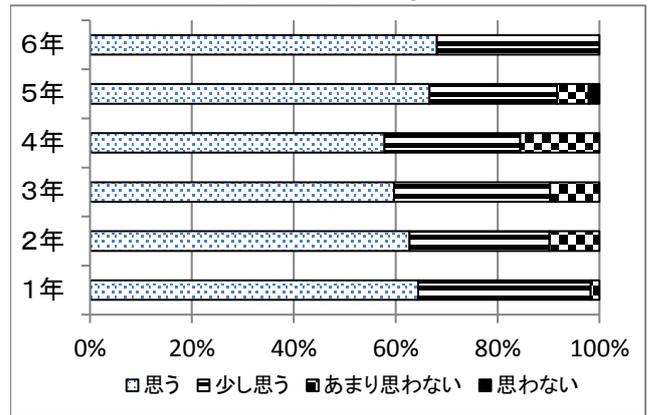


自分の考えや思いを発信したり、友だちの意見を聞いたりしていると答えた児童は、概ね80%を超えています。主に日常の児童の様子を見て、保護者も児童に話す力、聞く力が身につけてきたと認識しています。これは児童が学習で身に付けた力が、日常生活の中でも生かされていると考えられます。学習活動で獲得した力を生活に生かすことは大切なことです。今後も引き続き、児童の自己肯定感を高め、コミュニケーション能力を育むために、主体的対話的で深い学びができるように授業改善に取り組めます。

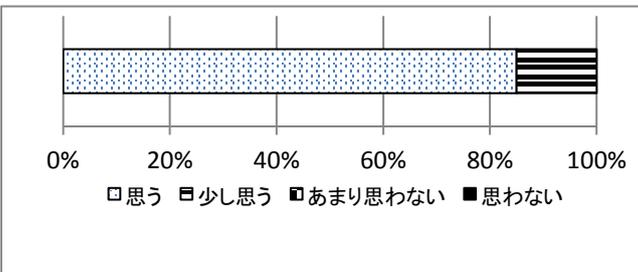
児童⑤ 友だちと仲よく遊んだり、困っている友だちを助けたりしていますか。



保護者⑤ 「思いやりの心」「感謝する心」が育ってきていると思いますか。

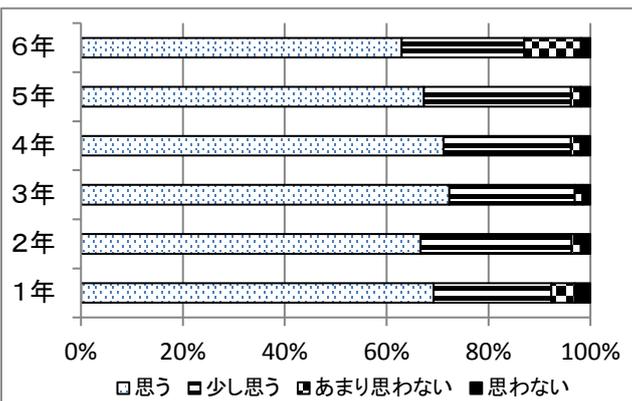


教職員⑤ 友だちにやさしくしたり、助けたりできるように指導に努めたか。

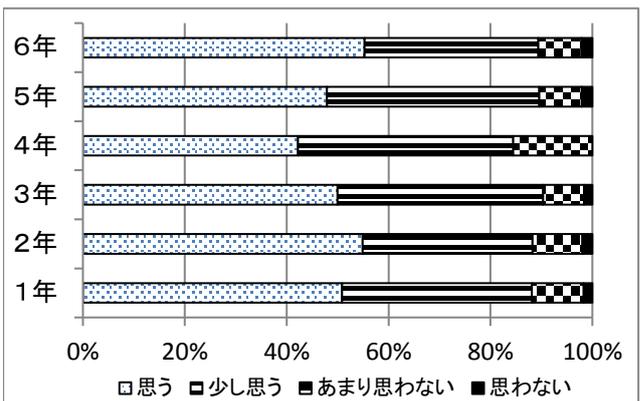


友だちと仲よくしたり、友だちを助けたりしていると答えた児童が「少し思う」も含めて、どの学年も90%を大きく超えています。お互いに支えあうことの喜びや大切さが感じられるよう今後も子どもたち同士がかかわりあえる機会を設け、毎日の学習活動や行事を通して思いやりの心を育てていきたいです。

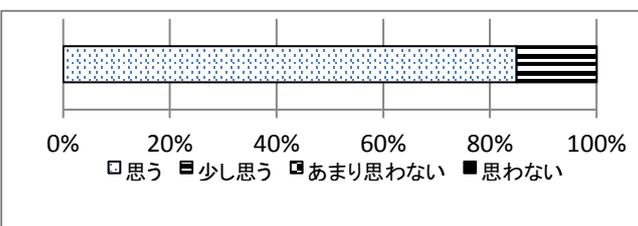
児童⑥ 「あいさつ」や「ありがとう」の言葉を進んで言っていますか。



保護者⑥ 「あいさつ」や「ありがとう」などをいう姿が見られますか。

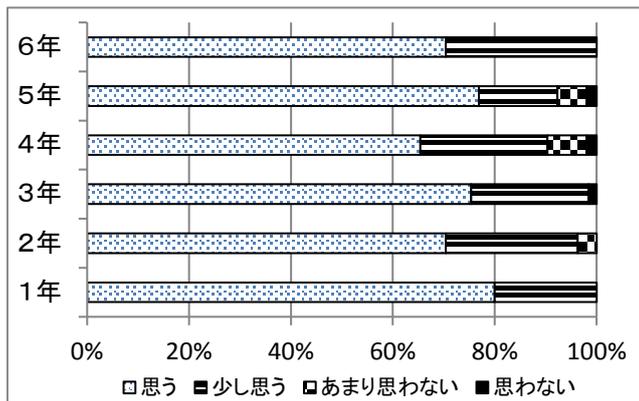


教職員⑥ 「あいさつ」や「ありがとう」が言えるように指導に努めたか。

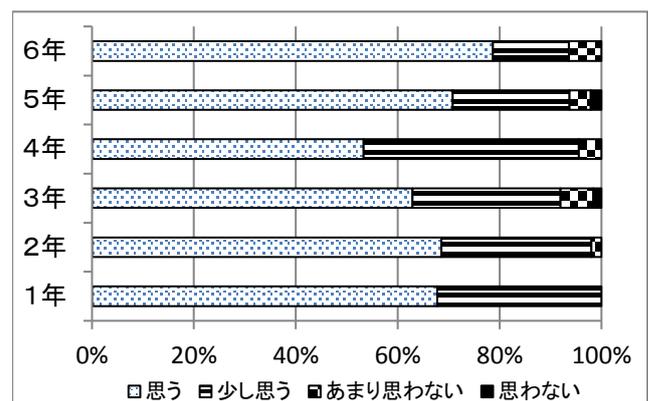


児童は85%以上ができていていると感じているようです。昨年度よりもできていている児童は増えました。保護者は児童に比べると進んであいさつできていないと感じているようです。今後も学校内外問わずあいさつができるよう、朝会等を通して働きかけていきます。

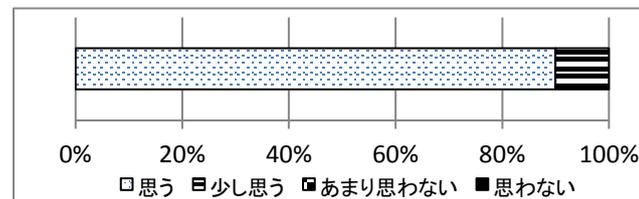
児童⑦ 係や給食当番、掃除当番の仕事を友だちと力を合わせていますか。



保護者⑦ 友だちと協力して活動したり、働いたりしている姿が見られますか。

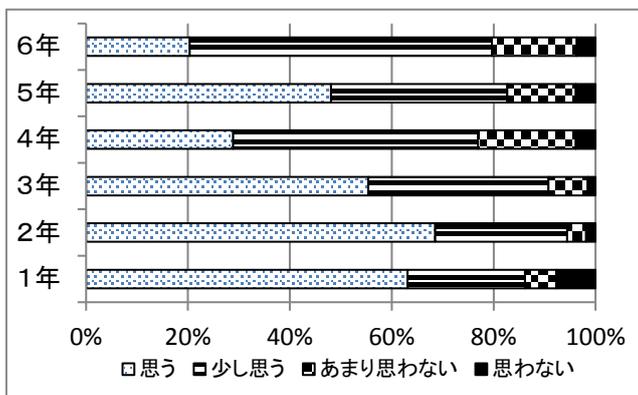


教職員⑦ 協力して活動したり、働いたりすること大切さについて指導するように努めたか。

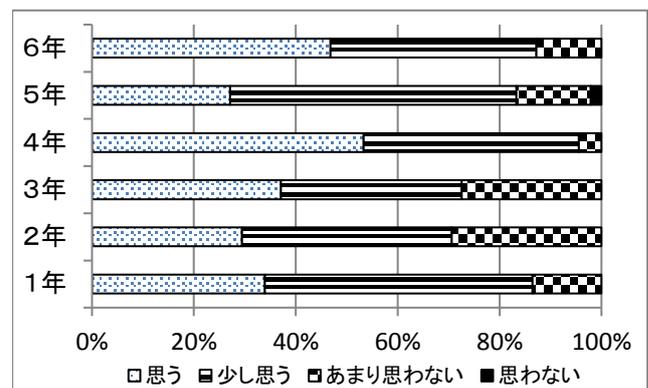


90%から100%の児童が、「思う」「少し思う」と答えています。子どもたちの普段の様子でも友だちと力を合わせ、進んで働いている姿が多く見られます。今年度は行事が例年より少なくなり、行事を通して学ぶ機会は減っていますが、クラスの係活動や当番活動（高学年では委員会活動も）を通して、友だちと協力することの楽しさや大切さを引き続き指導していきたいと思えます。

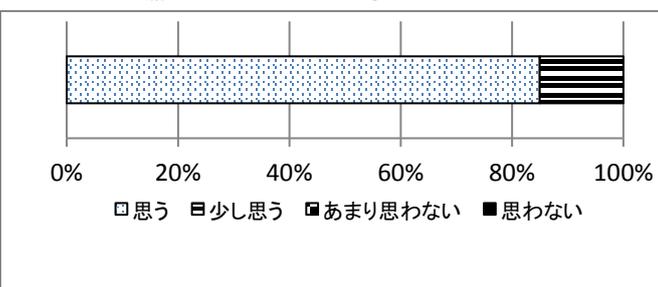
児童⑧ 粘り強く最後までやり通していますか。



保護者⑧ 何事にも粘り強く、最後までやり通していると思えますか。



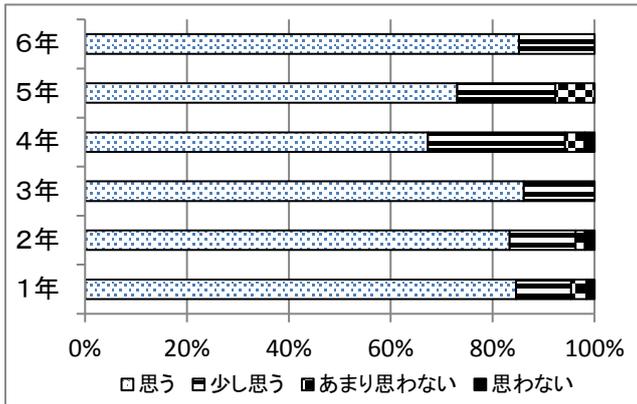
教職員⑧ 何事にも粘り強く取り組むよう支援したり励ましたりしたか。



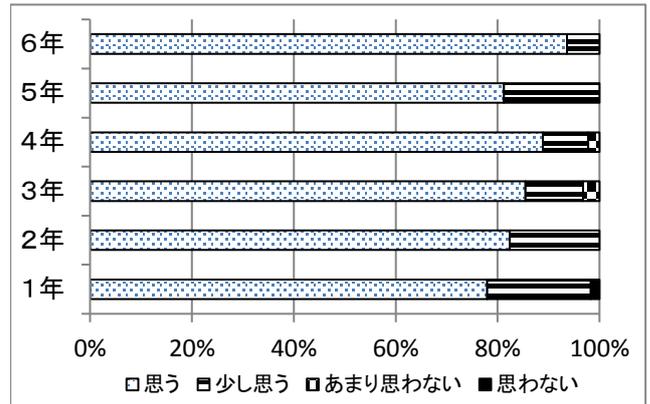
ほとんどの学年で、前年度の学年に比べて、「思わない」が減り、「思う」「少し思う」と答えた児童が10%ほど増えています。

ただ、保護者の評価に比べると、児童の自己評価がやや厳しい結果となっている学年もあります。あきらめず頑張っている場面を教職員も保護者とともに見逃さず、はげまし支援していきたいと思えます。

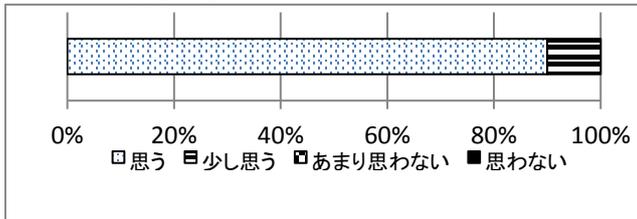
児童⑨ コロナやインフルエンザなどにかからないように、健康観察をしましたか。



保護者⑨ 感染症拡大防止のために、検温・手洗い・マスク着用に努めていましたか。



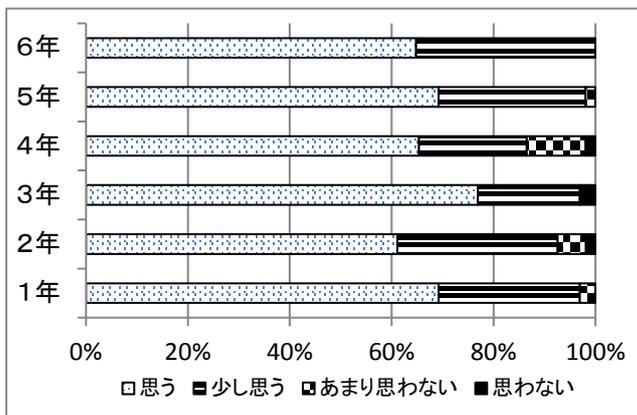
教職員⑨ 手洗い、マスク着用、3密をさける、外遊び、バランスよく食べることなどの指導に努めたか。



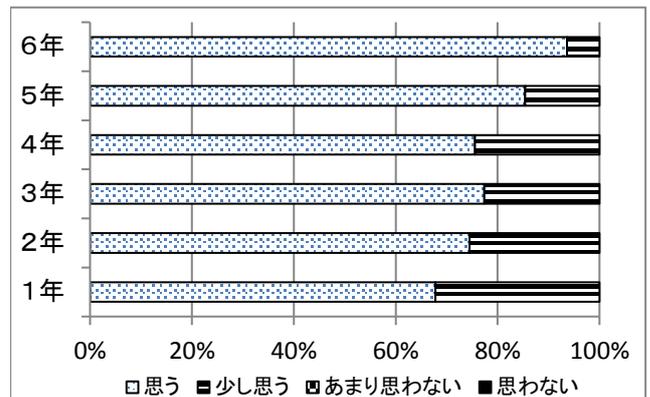
昨年のアンケート結果に比べ、児童・保護者・教職員の全てにおいて20%以上「思う」が増えました。

これは、新型コロナウイルス感染症の予防のために、規則正しい生活に努めた結果だと考えられます。新しい学校の生活様式を身に付けることができ、ひとりひとりが自分のため、家族のため、学校みんなのために努力していることがわかります。

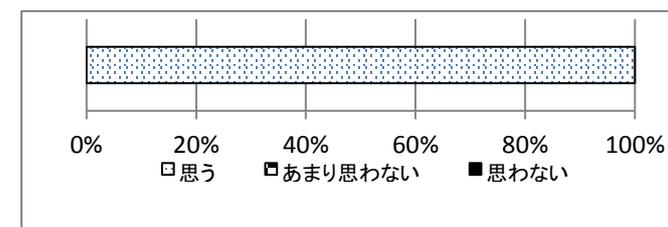
児童⑩ 安全で楽しい生活をしていますか。



保護者⑩ 交通ルールや社会ルールを守って生活している様子がみられますか。



教職員⑩ ルールを守り、生活できるよう指導に努めたか。



学年が上がるにつれて、ルールを守って安全に生活できるようになっていると答えています。

今後も引き続き粘り強く指導を繰り返していきたいと考えます。

児童⑪ 地域の方々との学習は楽しいですか。

R 2 年度調査なし

保護者⑪ 地域の方と一緒にする学習を楽しんでいる
と思いますか。

教職員⑪ 家庭や地域の方々と協力して、単元の工夫
に努めたか。

児童⑫ 学校の行事は楽しいですか。

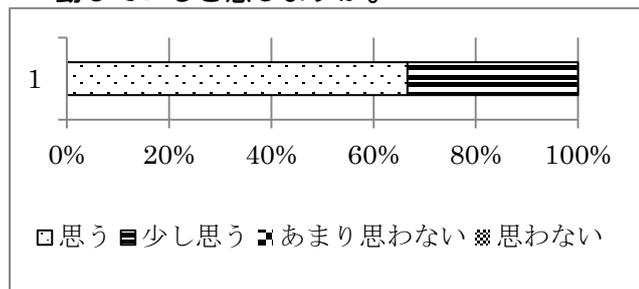
保護者⑫ 学校の行事に楽しく参加していると思いま
すか。

教職員⑫ 行事に参加する保護者や地域の方々に感謝
の気持ちで接し、準備や片づけなどを率先
して行ったか。

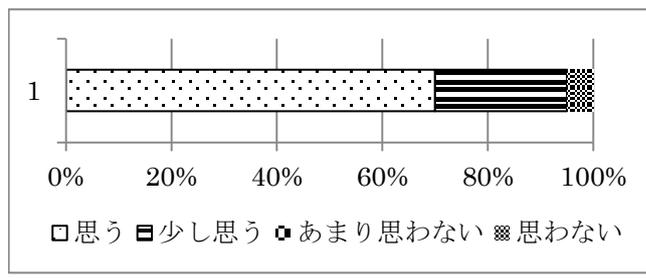
地域の方からの評価結果

今年度も、図書ボランティアさんや、りぶりんと・かわさきのみなさんなど、子どもたちが日頃お世話になってきた方々に子どもたちの様子をききました。

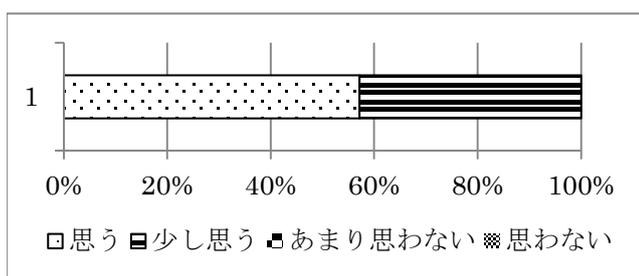
① 学校の行事等で子どもたちは、楽しそうに活動していると感じますか。



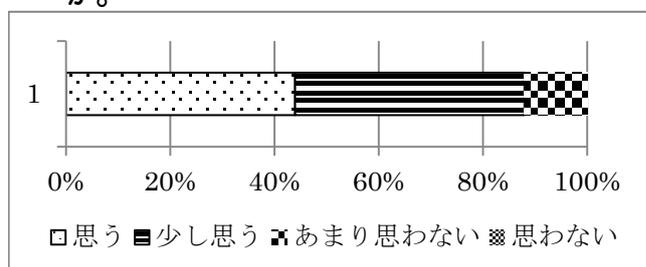
② 学校便りや行事を通して学校の様子が伝わってきますか。



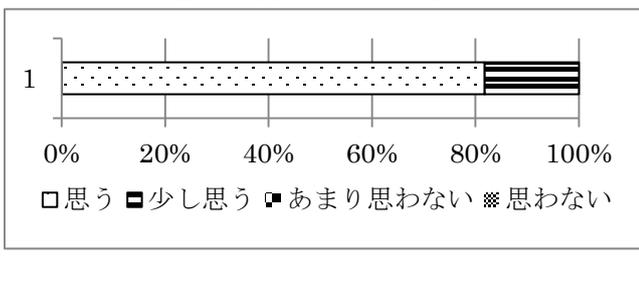
③ 子どもたちは、交通ルールや社会のルールを守って生活している様子が見られますか。



④ 子どもたちは、進んで「あいさつ」や「ありがとう」の言葉を使っている姿がみられますか。



⑤ 友だち同士で仲よく遊んだり、登下校したりしている様子が見られますか。



ご意見をいただきました。

・1年生がとても表情が豊かで声も大きく自由なところが嬉しく思います。2年生の言葉の遣い方も客観性が感じられて成長をしっかり感じます。6年生の男女仲が良いことが素晴らしい。良い距離感を保って話しています。1年1年の教育の積み重ねが人を作っていくことがわかります。

・今年度は、コロナ禍で数日伺った気持ちで書きました。子どもたちは、気持ちが落ち込んでいるようにも見えました。1、2年のアンデルセンの読み聞かせでは、大変生き生きとしていました。

・子どもたちは、みなさん礼儀正しく良い子たちです。先生方の教育がよいのかな？

・今年度は、コロナ禍で入学時の1年生支援もできずとても残念でした。時折学校へ訪れたときに元気な子どもたちの様子を見るたびにほっとし、心が和むように思いました。交流授業に参加させて頂くことができ、子どもたちと近くで接することができ、成長ぶりと各々の個性を感じ「育ち」の素晴らしさを目の当たりにしています。

・コロナ禍の中工夫を重ね、子どもたちの学校生活が守られているのがよくわかります。

・今年も6年生の交流授業のお手伝いをさせて頂いておりますが、毎回感心しますのは、絵本を読むのが得意な人ももちろんですが、苦手なお子さん、内気なお子さんでも前向きに一生懸命に取り組んで各班が楽しく明るく練習している姿に感動いたします。

・校内の様子で、積極的に挨拶をしてくれる子とそうでない子がいますが、人懐こい表情ですれ違ったり(街ですれ違った時も)教室内での友だち同士の関わりを見ていると、明るくのびのびしている様子が見え、心がほっとします。感染症の対応で学校も大変な一年であったと思いますが、今後も職員方の熱意でよりよい教育をお願いします。

・昨年7月16日の合同級の読み聞かせからりぶりんとの活動が再開できました。以降、9月24日のアンデルセンの読み聞かせ、今回の(6年生との)交流授業と、ボランティア活動が実現できたことを感謝申し上げます。

※たくさんのご意見をいただきありがとうございました。一部抜粋の形で載せていただきました。おほめいただいたことは子どもたちに伝え、あいさつやお礼の言葉などどんな場面でも進んで言えるように、引き続き指導を重ねていきたいと思っております。今後もお気づきのことがありましたら、お知らせください。